

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 <u>23</u> 年 <u>3</u> 月 <u>14</u> 日 (第 <u>    </u> 報) 発信時刻 <u>15</u> 時 <u>28</u> 分 (第 <u>15</u> 条- <u>60</u> 報)	
経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿 通報者名 <u>福島第一原子力発電所長</u> 連絡先 (原子力防災管理者) <u>0240-32-2101(代)</u> ( <u>    </u> <u>G</u> <u>    </u> )	
特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報 以後の情報を通報します。	
原子力事業所の名称及び場所	名称: <u>東京電力株式会社 福島第一原子力発電所</u> (事業区分: <u>電気事業</u> ) 場所: <u>福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原2-2</u>
特定事象の発生箇所	<u>福島第一原子力発電所 第<u>    </u>号炉</u>
特定事象の発生時刻	平成 <u>23</u> 年 <u>3</u> 月 <u>14</u> 日 <u>16</u> 時 <u>56</u> 分 (2.4時間表示)
発生した特定事象の概要	特定事象の種類 <u>①非冷却材心冷却装置注水不能</u> 原子力緊急事態に該当 ( <input checked="" type="checkbox"/> する, <input type="checkbox"/> しない )
	想定される原因 <input type="checkbox"/> 特定 <input checked="" type="checkbox"/> 調査中
検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	<u>28機のTAF測定は20711 現状は500T以下</u> <u>16時500RはTAF測定20711</u> <u>原子炉水圧: +11.00mm(A) 1.15mm現在</u> <u>11.00mm(B)</u>
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 <u>    </u> 時 <u>    </u> 分) 被ばく者の状況: <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 確認中 被ばく者 <u>    </u> 名 要救助者 <u>    </u> 名 汚染拡大の有無: <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	気象情報 (確認時刻 <u>    </u> 時 <u>    </u> 分) 天候: <u>    </u> 風向: <u>    </u> 風速: <u>    </u> m/s 大気安定度: <u>    </u>
	周辺環境への影響 <input type="checkbox"/> 無 <u>1430 MHP-3 231.1uR/h</u> <input checked="" type="checkbox"/> 有: <u>電子検出2147</u>
	応急措置 ..... .....